

## 大会運営上に関する申し合わせ事項

本大会は、(公財)日本ソフトボール協会 2026 年度オフィシャルソフトボールにより実施するが、その運営にあたっては、下記事項を本大会の申し合わせとする。

- 1 プログラムに掲載されているベンチ入りした選手全員を打順表に記載すること。  
なお、打順表に記載のない控え選手は、当該試合に出場することはできない。
- 2 選手の集合時間  
試合開始予定時刻 30 分前、前試合の 4 回終了時。また、得点差によるコールドゲームが終了した時に当該球場に集合すること。  
\* 3 回 15 点、4 回 10 点、5 回 7 点以上の得点差の場合は、コールドゲームとする。
- 3 練習は、試合及び大会運営に支障ない範囲で行うこと。
- 4 ベンチは番号の若い方を一塁側とする。
- 5 指導者資格証・記録員証および本人確認は、ベンチ入りの際に、毎試合ごと行う。  
確認は競技役員(競技委員・審判員・記録員等)が行う。
- 6 ベンチ内での次の行為は禁止する。
  - (1) 喫煙(※会場内はすべて禁煙)
  - (2) 携帯電話・メールの使用
  - (3) 監督専用イスのベンチ内への持ち込み
- 7 試合中における競技場での投球練習は、危険防止のため 1 組とする。
- 8 バットはバットゲージで確認し規格以外のもの及び危険と思われるものは、大会本部で預かる。(試合終了後に受け取ること。) 審判員の用具検査中に投手として出場の可能性のある選手は、使用グラブの確認をしてもらうこと。
- 9 試合中におけるサングラスの使用は認める。
- 10 フィールドイングは、ベンチに入ることが許される登録メンバー(監督、コーチ、選手)で行う。時間は後攻チームより 5 分間(終了予告 1 分前)とする。
- 11 試合中メガホンを使用できるのは、監督に限る。
- 12 打者は投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席に片足を置いておかなければならない。(例外あり)
- 13 スピーディーな試合進行に努めること。目に余る場合、ペナルティーを科すことがある。
- 14 雷鳴が聞こえたときは、直ちに試合を中断し、止んでから 20 分後に試合を再開する。
- 15 試合が連続するときは、前試合終了 30 分を目途にベンチ入りとする。
- 16 投手が投球姿勢(セット)に入ったときは、両チーム(応援者も含む)は、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。
- 17 監督・コーチ・選手はスポーツマンシップ、マナーを順守すること。また、応援者も節度ある応援をすること。
- 18 試合前に、投手用口ジンバッグを各チームに渡すこととする。
- 19 写真やビデオ撮影する場所は、観客席および外野フェンス外側とする。ただし、指定したバックスクリーン区域は禁止とする。
- 20 撮影した写真・動画は、SNS、Twitter、YouTube 等への掲載はしないこと。
- 21 競技運営の細部については(公財)日本ソフトボール協会が制定する「競技運営に関する注意事項」を適用する。